

# 通 信

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会第50回大会の開催のお知らせと講演プログラム

\*\*\*\*\*

沖縄生物学会第50回大会： 2013年 5月25日(土) 琉球大学理学部複合棟102教室  
 50周年記念講演会・写真展： 2013年 5月26日(日) 沖縄県立博物館・美術館 講堂

沖縄生物学会の第50回大会を下記の要領で開催いたします。今大会は口頭発表15題、ポスター発表28題、小学生によるポスター発表3題を予定しています。本年度大会のミニシンポジウムは、「奄美・琉球の世界自然遺産への登録に向けて」を予定しております。また、第4回池原貞雄記念賞の受賞講演もあります。多数の方のご参加をお待ち申し上げております。

大会日程 (大会参加費：1,500円、学生1,000円、 懇親会費：3,000円 学生2,000円)

5月25日(土)	受 付	8:30～	理系複合棟玄関ホール
琉球大学	一般講演	9:00～10:30	理系複合棟 102 室
	一般講演	10:40～12:10	理系複合棟 102 室
	休 憩(昼食)	12:10～13:00	
	総 会	13:00～14:00	理系複合棟 102 室
	第4回池原賞受賞講演	14:00～14:30	理系複合棟 102 室
	小学生ポスター発表	14:35～14:50	理系複合棟玄関ホール
	一般ポスター発表	14:50～16:00	理系複合棟玄関ホール
	一般講演	16:10～16:55	理系複合棟 102 室
	ミニシンポジウム	17:00～17:45	理系複合棟 102 室
	懇親会	18:00～	琉球大学中央生協食堂
5月26日(日)	50周年記念講演会・写真展	13:30～17:00	県立博物館・美術館講堂

### 第50回大会会場 (5月25日 (土) 琉球大学)



### 50周年記念講演会・写真展

(5月26日 (日) 県立博物館・美術館 講堂)



# プログラム

## 一般講演【午前の部 9:00～】

- O-01 沖縄島におけるジャコウネズミのオスの行動圏、環境選択性、活動性  
○中本 敦・中西 希(琉球大・理)
- O-02 西表島全域におけるイリオモテヤマネコの生息状況解明 -長期に渡るカメラ・トラップ調査から-  
○中西 希(琉球大・理)・濱田 巧(沖縄森林管理署)・加島幹男(大原森林事務所)・伊澤雅子(琉球大・理)
- O-03 ダイトウオオコウモリによるダイトウビロウの採餌行動  
○阿部 悠(琉大・理工)・奥田康平・傳田哲郎(琉大・理)・小林 峻・合田雅浩(琉球大院・理工)・東 和明(オフィスキーポイント)・伊澤雅子(琉球大・理)
- O-04 希少種アマミノクロウサギ *Pentalagus furnessi* の種的特徴としての音声  
○山田文雄(森林総研)
- O-05 鱗粉細胞間における自発的な長距離  $Ca^{2+}$  シグナルの発見  
○大野良和(琉球大院・理工)・大瀧丈二(琉球大・理)
- O-06 宮古諸島下地島の海底洞窟の無脊椎動物相  
○藤田喜久(NPO 法人海の自然史研究所;琉球大・大教セ)・成瀬 貴(琉球大・熱生研)・久保弘文(沖縄県水産海洋技術センター)・伊勢優史(東大院・理)

## 【休憩 10:30～10:40】

- O-07 スポットチェック法で調査した沖縄島周辺海域サンゴ群集の 9 年間の変遷(環境省モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査 平成 16 年度～平成 24 年度結果報告)  
○長田智史・山川英治・小澤宏之・長井 隆・小笠原 敬(財団法人沖縄県環境科学センター)・木村 匡(財団法人自然環境研究センター)
- O-08 数値シミュレーションを用いた西表島網取湾における河川からの流入土砂の輸送解析  
○村上智一(防災科研)・鶴飼亮行(五洋建設)・寺田 森(東海大・海洋)・水谷 晃(東海大・沖縄地域研)・下川信也(防災科研)・中瀬浩太(五洋建設)・河野裕美(東海大沖縄地域研)
- O-09 沖縄県屋我地島の饒辺名干潟に分布拡大するヒルギダマシ(*Avicennia marina*)に関する研究—国内移入したマングローブ種の分布動態—  
○新垣裕治・山田慶紀・比嘉博斗(名桜大・観光産業)
- O-10 スポントタケ目の分子系統と沖縄周辺の要検討種  
○保坂健太郎(国立科博・植物)・Larissa Trierweiler Pereira(Univ. Federal do Rio Grande do Sul, Brasil)
- O-11 民生用のデジカメを用いた安価な顕微鏡撮影法と注意点について  
○泉水 奏(琉球大・医・人体解剖)・池田 治(神奈川県川崎市)
- O-12 イージーセンスを用いた海藻の光合成測定実験の開発と中学校選択理科での実践例  
○飯田勇次(玄海地区海藻研究会)・片山舒康(生物教育研究所)

## <休憩-(昼食)>

総会【13:00~14:00】

受賞講演【14:00~14:30】

中村 剛(台湾中央研究院生物多様性センター)「琉球, 台湾, フィリピンの植物地理」

ポスター講演(小学生)【14:35~14:50】

SP-01 慶留間島のケラマジカ研究 I: 角とぎの跡について

○渡口 舞・大村加奈子・渡口 怜・石井大作(慶留間小学校)・遠藤 晃(南九州大学)

SP-02 慶留間島のケラマジカ研究 II: シカの歩き方について

○大村加奈子・渡口 怜・渡口 舞・石井大作(慶留間小学校)・遠藤 晃(南九州大)

SP-03 慶留間島のケラマジカ研究 III: シカの身長について

○渡口 怜・渡口 舞・大村加奈子・石井大作(慶留間小学校)・遠藤 晃(南九州大)

ポスター講演(一般)【14:50~16:00】

P-01 沖縄県と宮崎県の小学校におけるニホンジカを題材とした環境教育実践—探究活動からテレビ会議システムを活用した表現活動まで

○遠藤 晃(南九州大・人間発達)・石井大作(慶留間小学校)・満行 浩(御池小学校)

P-02 久米島ナンハナリにおけるヤセミドリイシ大群集の長期モニタリングの試み: 台風被害からの回復過程を追う

○ナンハナリサンゴ調査会(久米島町)

P-03 Growth rates and photosynthetic activities of *Symbiodinium* spp. exposed to different temperatures

○Widiastuti, Karim & Michio Hidaka (Grad. Sch. Sci. & Engn., Univ. Ryukyus)

P-04 Fitness of *Cassiopea* polyps associated with different types of symbionts

○Hudatwi, Mu' alimah (Grad. Sch. Sci. & Eng., Univ. Ryukyus; Master of Mar. Sci, Diponegoro Univ.) & Michio Hidaka (Grad. Sch. Sci. & Eng., Univ. Ryukyus)

P-05 渡具知ビーチでチドリミドリガイは通年出現する

○棚村太輔・広瀬裕一(琉球大院・理工)

P-06 沖縄島大浦湾から得られた超大型のイカリナマコ類に関して

小淵正美(ダイビングチームすなっくスナフキン; 黒潮生物研究所)・○西原千尋・西平伸(ダイビングチームすなっくスナフキン)・François Michonneau(フロリダ大)

P-07 沖縄島大浦湾における褐藻マジリモク群落の季節的消長について

渡邊謙太(ダイビングチームすなっくスナフキン; 沖縄高専)・小淵正美(ダイビングチームすなっくスナフキン; 黒潮生物研)・西平 伸(ダイビングチームすなっくスナフキン)・○藤井琢磨(ダイビングチームすなっくスナフキン; 琉球大院・理工)・西原千尋・古賀泥々(ダイビングチームすなっくスナフキン)・大葉英雄(東京海洋大)

- P-08 沖縄県内からのシデロフォア産生菌の探索  
○吉田若菜(沖縄高専・専・生資工)・田邊俊朗(沖縄高専・生資工)
- P-09 沖縄県内からの白色腐朽菌の探索と土壌浄化技術の開発  
○高宮聖奈(沖縄高専・専・生資工)・田邊俊朗(沖縄高専・生資工)
- P-10 沖縄県内各地からの土壌放線菌の単離  
○崎原健吾(沖縄高専・専・生資工)・田邊俊朗(沖縄高専・生資工)
- P-11 石油分解菌を用いた土壌浄化技術の開発  
○比嘉一葉(沖縄高専・専・生資工)・田邊俊朗(沖縄高専・生資工)
- P-12 キクの生長における糖質が及ぼす影響の検討  
○中里 凌(沖縄高専・専・生資工)・田邊俊朗(沖縄高専・生資工)
- P-13 台湾蘭嶼島産コウトウボチョウジ(アカネ科)の二型花柱性  
○渡邊謙太(沖縄高専)・T. Y. Aleck Yang(台湾自然科学博)西原千尋(ダイビングチームすなっくスナフキン)・菅原 敬(首都大)
- P-14 琉球列島固有種アカボシタツナミソウの溪流環境への適応と分化  
○吉村 光(琉球大院・理工)・北村嘉夫・横田昌嗣・傳田哲郎(琉球大・理)
- P-15 ヒメタムラソウの花形態と送粉生態  
○入本敦史(琉球大院・理工)・横田昌嗣・傳田哲郎(琉球大・理)
- P-16 大分県蒲江で発見されたミヤコジシバリ  
○合田雅浩(琉球大院・理工)・横田昌嗣・傳田哲郎(琉球大・理)
- P-17 宮古島の湧水で確認された淡水産緑藻チョウチンミドロについて  
○岸本和雄(沖縄県水産海洋技術センター石垣支所)・香村眞徳(宜野湾市)・藤田喜久(NPO 法人海の自然史研究所;琉球大・教育セ)
- P-18 フグ毒保有魚ツムギハゼの生体防御 -魚食魚に対するフグ毒の有効性の検証-  
○関川宏美(東海大院・海洋)・南條楠土(東大・大気海洋研)・齋藤俊郎(東海大・海洋)・河野裕美(東海大・沖縄地域研)
- P-19 西表島浦内川河口域におけるコムラサキオカヤドカリとオカヤドカリの分布, 宿貝利用および幼生放出行動  
河野裕美・○水谷 晃(東海大・沖縄地域研)
- P-20 仲ノ神島におけるアオツラカツオドリとアカアシカツオドリの飛来状況(1986~2013年)  
○河野裕美・水 谷晃(東海大・沖縄地域研)
- P-21 西表島網取湾のウダラ川における魚類群集の構造  
○井上太之(東海大院・海洋)・南條楠土(東大・大気海洋研)・北野 忠(東海大・教養)・木村賢史(東海大・海洋)・河野裕美(東海大・沖縄地域研)
- P-22 西表島の水田に生育する水生植物の分布と生育環境  
○藤吉正明・北野 忠(東海大・教養)・崎原 健(東海大・沖縄地域研)・北條芳隆(東海大・文学)・藤野裕弘(東海大・教養)・河野裕美(東海大・沖縄地域研)
- P-23 砂浜に潜むリュウキュウナミノコハゼのミトコンドリア DNA および核 DNA に基づく分子系統解析  
○昆 健志(東邦大・理)・坂上治郎(サザンマリンラボラトリー), 鈴木寿之(兵庫県立川西緑台高)
- P-24 2012年度沖縄県慶良間諸島座間味島におけるウミガメの上陸・産卵について  
○松本和将・川島 董・高岡千早(琉球大・ウミガメ研究会ちゅらがーみー)

**P-25 琉球の森で僕はどのように生きていこう: 選択圧の緩和が及ぼすイモリの警告形質の動態**

○持田浩治・戸田 守(琉球大・熱生研)

**P-26 ケナガネズミ(*Diplothrix legata*)における広東住血線虫(*Angiostrongylus cantonensis*)感染の初記録**

○中谷裕美子(NPO どうぶつたちの病院 沖縄)・岡野 司・大沼 学(国立環境研)・吉川堯(よしかわ小動物病理診断研)・齊藤雄太・田中暁子(NPO どうぶつたちの病院 沖縄)・福田 真・中田勝士・國吉沙和子(環境省やんばる野生生物保護センター)・長嶺 隆(NPO どうぶつたちの病院 沖縄)

**P-27 希少種トゲネズミ属 *Tokudaia* 3種の生息状況と遺伝的多様性**

○城ヶ原貴通(岡山理科大・理)・山田文雄(森林総研)・望月春佳(岡山理科大・理)・木戸文香・黒岩麻里(北大院・理)・越本知大(宮崎大・フロンティア科学実験総合センター)・村田知慧(徳島大院・ヘルスバイオサイエンス研究部)・中家雅隆・三谷 匡(近畿大院・生物理工)

**P-28 磁気ビーズによる対象 DNA 分子の濃縮と次世代シーケンサーを組み合わせたマイクロサテライト遺伝マーカーの開発**

○栗田隆気(琉球大院・理工)・青山洋昭・齋藤星耕・新里尚也・戸田 守(琉球大・熱生研)・富永 篤(琉球大・教育)

**一般講演【午後の部 16:10~】**

**O-13 西表島浦内川のマングローブ域における滞とタイドプールの魚類群集構造**

○南條楠土(東大・大気海洋研)・河野裕美(東海大・沖縄地域研)・佐野光彦(東大院・農)

**O-14 沖縄島比謝川における外来魚マダラロリカリアの産卵期と初期生活史**

○嶋津信彦

**O-15 リュウキュウアユ沖縄島絶滅集団と奄美大島集団との集団遺伝学的比較**

○今井秀行(琉球大・理)・ムハツマド ファドリー アブドゥラ(琉球大院・理工)・米沢俊彦(鹿児島県環境技術協会)

**ミニシンポジウム【17:00~17:45】**

**「奄美・琉球の世界自然遺産への登録に向けて」**

企画: 環境省那覇自然環境事務所(世話人: 阪口法明)

挨拶: 植田明浩(環境省那覇自然環境事務所)

岡野隆宏(鹿児島大学教育センター 特任准教授): 「世界自然遺産について」

阪口法明(環境省那覇自然環境事務所 野生生物企画官): 「奄美・琉球の世界自然遺産としての価値と今後の課題」

<趣旨> 我が国は今年2月に「奄美・琉球」の世界自然遺産登録に向けて、世界遺産暫定一覧表記載のための必要文書をユネスコ世界遺産センターに提出したところです。そこで、世界自然遺産とはどのようなものなのか、登録までのプロセス、必要な要件、登録後の課題など、他の自然遺産の事例をまじえ紹介するとともに、「奄美・琉球」の世界自然遺産としての価値、登録に向けた今後の課題などについて紹介します。

**懇親会(大学生協中央食堂)【18:00~】**

ミニシンポジウム終了後、構内の大学生協食堂にて懇親会を予定しております。講演時間内に出来なかった討論や会員同士の親睦をより深めるため、是非ご参加下さい。

沖縄生物学会創立50周年記念公開講演会「生物学徒が見た沖縄の自然」  
および写真展

2013年 5月26日(日) 沖縄県立博物館・美術館 講堂  
13:30開始(13:00開場)、入場無料、先着順(全212席)

◇基調講演：西平守孝（一般財団法人 沖縄美ら島財団 参与・東北大学名誉教授）  
「この50年間どのような視点で生物たちを見て来たか」

◇50年の沖縄の自然と生物学会を振り返る講演：  
千木良芳範（元県立博物館・美術館副館長）「知花夜歩き ～40年の記憶から～」

安座間安史（辺土名高校校長）「ノグチゲラ探索記」

神谷 保江（元県立高校教諭）「私の出会った植物たち」

同時に講堂前ロビーにて、本学会初代会長の故池原貞雄先生の撮影された写真を中心に、50～70年代の沖縄の自然を記録した写真展を開催します。

沖縄生物学会創立50周年記念公開講演会

# 生物学徒が見た 沖縄の自然



日時：平成25年 5月26日(日) 13:30開会(13:00開場) **入場無料**  
場所：沖縄県立博物館・美術館 [講堂] **先着順(全212席)**

◇基調講演：西平守孝（一般財団法人 沖縄美ら島財団 参与・東北大学名誉教授）  
「この50年間どのような視点で生物たちを見て来たか」

◇50年の沖縄の自然と生物学会を振り返る講演：  
千木良芳範（元県立博物館・美術館副館長）「知花夜歩き ～40年の記憶から～」  
安座間安史（辺土名高校校長）「ノグチゲラ探索記」  
神谷 保江（元県立高校教諭）「私の出会った植物たち」

主催：沖縄生物学会 共催：沖縄県立博物館・美術館



\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会評議会報告

\*\*\*\*\*

### 1. 概要

沖縄生物学会評議会が、2013年2月7日、3月29日、4月8日、4月22日の計4回メール会議にて行われました。内容は以下のとおりです。

### 2. 内容

#### 1) 2014 年度の 4 学会(動物・植物・生態・沖生会)の合同大会について

2014 年度の 3 学会(動物・植物・生態の各学会)九州支部の合同大会が沖縄で開催されることになりました。2014 年度合同大会を、沖縄生物学会も含めた 4 学会合同大会として開催すること、および 2014 年 5 月 24、25 日の土、日に、琉球大学共通教育棟で開催することが了承されました。

#### 2) 世界遺産に関するミニシンポジウムについて

第 50 回大会では、大会翌日に 50 周年記念事業として特別講演会と写真展を行うため、大会ではシンポジウムは行わない予定でしたが、環境省那覇事務所企画で「世界遺産に関するミニシンポジウム」を実施することになりました。世界遺産に関する動きを知ることは会員にとって意義があることから、一般講演終了後、懇親会開始までの 45 分間程度、ミニシンポジウムを実施することになりました。

#### 3) 小学生によるポスター発表について

慶良間(座間味村)の小学生によるケラマジカ関連のポスター発表について、今回も前回大会にない 15 分程度の発表時間を確保し、発表者への船賃の支援を大会費より行うこととしました。来年度に向けて、新たな企画や公募のしかたなどについても検討することとしました。

#### 4) 生物多様性に関する県博特別展の後援依頼について

平成 25 年度沖縄県立博物館・美術館「博物館特別展 海山川のおくりもの 目からウロコの大生き物展! ~生物多様性ホットスポット JAPAN~」(開期:平成 25 年 7 月 12 日(金)~9 月 1 日(日))について、本学会が後援することを了承しました。

#### 5) 第 4 回池原貞雄記念賞について

第 4 回池原貞雄記念賞選考委員会より推薦された中村剛氏を第 4 回池原貞雄記念賞の受賞者とすることを決定しました。中村剛氏が「分子系統学的手法を用いて、日本・琉球・台湾島弧における維管束植物の系統進化、遺伝的分化、分散過程、そして生物地理学に関する詳細な研究を行い、今後この地域における研究の先例となる成果をあげられた」ことを授賞理由としました。

#### 6) 会員メーリングリスト(ML)への登録のお願い

ML に未登録の方は、ホームページに掲載されています ML 登録のお願い ([http://www.okibio.jp/news\\_06.html](http://www.okibio.jp/news_06.html))をご覧ください。登録をお願いします。現在 65 名の方が登録されています。

\*\*\*\*\*

### 評議員の皆様へのお知らせ

沖縄生物学会評議会を、2013年5月20日(月曜)19時より、琉球大学理学部本館5階528室にて開催致します。ご参加下さいませよう、よろしくお願い致します。

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員が下記のように選出され、前回の総会で承認されました。任期は2年間で、2014年5月の総会までです。

会長	日高 道雄(琉球大学)
副会長	安座間 安史(辺土名高校校長)
	当山 昌直(沖縄県教育委員会)
監査員	徳田 岳(琉球大学)
	吉野 弘美(元琉球大学生物事務)
	水野 拓((株)イーエーシー)
評議員	
大学関係	盛口 満(沖縄大学) 金城 和三(沖縄国際大学)
	磯村 尚子(沖縄工業高等専門学校)
研究機関	山崎 仁也(県立博物館・美術館) 阿部 篤志(沖縄美ら島財団)
	長田 智史(沖縄県環境科学センター)
行政機関	稲福 弘(沖縄県企画部) 阪口 法明(那覇自然環境事務所)
高校関係	當間 順一(首里高校) 嵩原 建二(名護特別支援学校)
	豊見山 元(コザ高校)
中学校関係	木山 淳一(琉球大学付属中学校)
庶務	須田 彰一郎(琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
	富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)
	伊澤 雅子(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)
会計幹事	傳田 哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)
編集幹事	成瀬 貫(琉球大学) 伊藤 竜一(琉球大学)
編集委員	久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)
	大瀧 丈二(琉球大学) 今井 秀行(琉球大学)

---

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、[okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp](mailto:okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) です。



## 沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 小林宏行  
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政  
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也  
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

\*\*\*\*\*

### 原稿募集のお知らせ

沖縄生物学会誌では、第45号より、原稿提出の締め切り日を廃止し、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。従いまして、随時投稿を受け付けております。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。ますよう合わせてお願いします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

沖縄生物学会編集委員会

\*\*\*\*\*

### 沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577 FAX:(098) 895-8576

庶務 中村 崇 (098)895-8897

沖縄生物学会ホームページ: <http://www.okibio.jp/>

メールアドレス: [info@okibio.jp](mailto:info@okibio.jp) (okibio@w3.u-ryukyu.ac.jpは、2013年度まで使用可能です)

振替口座(郵便): 02030-8-30433 沖縄生物学会